

漢文「仮定・条件」識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

はじめに

漢文の読解でカギになるのが**条件の表し方**です。縦書きの漢文（返り点つき）を読んで、ア～ウから選びましょう。

記号	条件	目印	意味
ア	順接仮定	如・若・苟（+～らば）	もし～ならば
イ	逆接	雖（いへども）・縦（たとひ）	たとえ～でも／～だけれども
ウ	順接確定	（已然形+れば／如・若なし）	～ので・～すると

鉄則 - 「如・若」＝もし。「苟」＝いやしくも。これがあれば順接仮定（ア）。 - 「雖」＝いへども。「縦」＝たとひ。これがあれば逆接（イ）。 - 目印がなく「～れば」で続けば順接確定（ウ）。

採点表

部	問題	目標
第1部 基礎	Q1～Q20	18／20
第2部 標準	Q21～Q50	24／30
第3部 応用	Q51～Q80	21／30
第4部 入試	Q81～Q100	13／20

【第1部】基礎（Q1～Q20）

句法 Q1. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如^シ
王命^{ゼバ}。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し王命ぜば」。「もし王が命じたら」。

句法 Q2. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

小^{ナリト}
雖^モ。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「小なりと雖も」。「小さいといっても」。

句法 Q3. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

春^{タレバ}
来^バ。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「来たれば (已然+ば)」「春が来ると」。順接確定。

句法 Q4. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

若^シ
雨降^{ラバ}
。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し雨降らば」「もし雨が降れば」。

句法 Q5. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦^ト
死^モ
。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ死すとも」「たとえ死んでも」。

読み方 Q6. 傍線部「如」の読み方として、ここで最も適切なものを選べ。

如^シ
知^ラ
。

ア もし

イ ごとし

ウ いへども

▶ 答え：ア 条件文の文頭にある「如し」は「もし」。書き下し「如し知らば」。「もし知ったら」。順接仮定。

現代語訳 Q7. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

苟^ク
有^モ
志^ラ
。

ア たとえ志があっても

イ もし志があれば

ウ 志があるので

▶ 答え：イ 「苟くも」は「いやしくも・もし」。書き下し「苟くも志有らば」。順接仮定。

句法 Q8. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

水^レ
至^バ
。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「至れば (已然+ば)」。「水が至ると」。順接確定。

読み方 Q9. 傍線部「雖」の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで書いたものを選び。

貧^{シト}
雖^モ
○

ア もし

イ たとひ

ウ いへども

▶ 答え：ウ 「雖」は「いへども」。書き下し「貧しと雖も」。「貧しいけれども」。逆接。

句法 Q10. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如^シ
用^キ
言^バ
○
ヲ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し言を用ゐば」。「もしその言葉を用いれば」。

句法 Q11. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

風吹。

ケバ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「吹けば (已然+ば)」。「風が吹くと」。順接確定。

句法 Q12. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

賢雖。

ナリト

レ

モ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「賢なりと雖も」。「賢いといつても」。逆接。

現代語訳 Q13. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

若許。

シ

サバ

ア もし許せば

イ たとえ許しても

ウ 許すので

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し許さば」。順接仮定。

句法 Q14. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦ナリトモ貴。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ貴なりとも」。「たとえ高貴でも」。逆接。

句法 Q15. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

徳レバ有。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「有れば（已然+ば）」。「徳があるので」。順接確定。

読み方 Q16. 傍線部「苟」の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで書いたものを選べ。

苟クモ
過チ有ラバ。

ア もし

イ いやしくも

ウ なほ

▶ 答え：イ 「苟くも」は「いやしくも」（もしの意）。書き下し「苟くも過ち有らば」。順接仮定。

句法 Q17. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如^シ
学^バ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し学ばば」。「もし学べば」。

句法 Q18. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

学^ベ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「学べば（已然+ば）」。「学ぶと」。順接確定。

現代語訳 Q19. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 雖 難 ○
モ
シ
ト

ア もし難しければ

イ 難しいので

ウ たとえ難しくても

▶ 答え：ウ 「雖」は「いへども」。書き下し「難しと雖も」。「難しいけれども」。逆接。

句法 Q20. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

若 失 時 ○
シ
ハ
バ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し時を失はば」。「もし時機を失えば」。

句法 Q21. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如 治 民 ○
シ
メ
バ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し民を治めば」。「もし民を治めるなら」。

句法 Q22. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

名成_{レバ}。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「成れば (已然+ば)」。「名声を成し遂げると」。順接確定。

句法 Q23. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦難_{カラシトモ}。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ難からんとも」。「たとえ難しくても」。逆接。

現代語訳 Q24. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

如許_{シサバ}。

ア もし許せば

イ たとえ許しても

ウ 許すので

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し許さば」。順接仮定。

書き下し Q25. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

苟見利。

クモ

バ

ヲ

ア 苟くも利を見れば

イ 苟くも利を見ば

ウ 苟くも利を見ず

▶ 答え：イ 「苟くも…見ば（未然+ば）」は順接仮定。「もし利益を見ても」。

句法 Q26. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

位高雖。

シト

モ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「位高しと雖も」。「位が高くても」。逆接。

句法 Q27. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

上行。
ヘバ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「行へば (已然+ば)」。「上が行えば」。順接確定。

句法 Q28. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

若用其言。
シキバノヲ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し其の言を用みば」。「もしその言葉を用いれば」。

読み方 Q29. 傍線部「縦」の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで書いたものを選べ。

縦賞。
セラヒトモ

ア もし

イ いへども

ウ たとひ

▶ 答え：ウ 「縦」は「たとひ」。書き下し「縦ひ賞せらるとも」。「たとえ褒美をもらっても」。逆接。

句法 Q30. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如
助。
シ
ケ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し助けば」。「もし助けるなら」。

句法 Q31. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

寒
来。
タ
レ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「来たれば（已然+ば）」。「寒さが来ると」。順接確定。

現代語訳 Q32. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

雖
富。
レ
ヲ
リ
ト

ア たとえ富んでいても

イ もし富めば

ウ 富んでいるので

▶ 答え：ア 「雖」は「いへども」。書き下し「富めりと雖も」。「富んでいても」。逆接。

句法 Q33. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

若
守
約。
シ
ラ
バ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し約を守らば」。「もし約束を守れば」。

書き下し Q34. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

川
深。
ケ
レ
バ

ア 川深からば

イ 川深ければ

ウ 川深しと雖も

▶ 答え：イ 目印がなく「深ければ（已然+ば）」。「川が深いので」。順接確定。

句法 Q35. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

苟クモ
務メ
本バ
。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ア 「苟くも…務めば (未然+ば)」は順接仮定。「もし根本に努めれば」。

句法 Q36. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦セラ
賞ル
。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ賞せらるとも」。「たとえ褒美をもらっても」。逆接。

句法 Q37. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如シ
知ラ
過バ
。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し過ちを知らば」。「もし過ちに気づいたら」。

現代語訳 Q38. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

志立。
テバ

ア もし志が立てば

イ たとえ志が立っても

ウ 志が立つと

▶ 答え：ウ 目印がなく「立てば（已然+ば）」。「志が立つと」。順接確定。

句法 Q39. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

才雖。
アリト
モ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「才ありと雖も」。「才能があっても」。逆接。

書き下し Q40. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

如
用
兵。
シ
キ
バ
ヲ

ア 如し兵を用ゐば

イ 如し兵を用ゐれば

ウ 如し兵を用ゐず

▶ 答え：ア 「如し…用ゐば（未然+ば）」は順接仮定。「もし軍を動かすなら」。

句法 Q41. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

君
正。
シ
ケ
レ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「正しければ（已然+ば）」。「君主が正しければ」。順接確定。

句法 Q42. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
遠。
シ
ト
モ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ遠しとも」。「たとえ遠くても」。逆接。

読み方 Q43. 傍線部「若」の読み方として、ここで最も適切なものを選び。

若^シ
志^サ
仁^バ
。

ア ごとし

イ もし

ウ しく

▶ 答え：イ 条件文の文頭の「若し」は「もし」。書き下し「若し仁に志さば」。順接仮定。

句法 Q44. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

木^ツ
朽^レ
。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「朽つれば (已然+ば)」。「木が朽ちると」。順接確定。

句法 Q45. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

賢ナリト雖モ。
レ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「賢なりと雖も」。「賢明であつても」。逆接。

現代語訳 Q46. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

如シ忍ババ。
。

ア たとえ耐え忍んでも

イ 耐え忍ぶので

ウ もし耐え忍べば

▶ 答え：ウ 「如し」は「もし」。書き下し「如し能く忍ばば」。順接仮定。

句法 Q47. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

上ゼザレバ信。
。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「信ぜざれば（已然+ば）」。「上が信頼されない」と。順接確定。

句法 Q48. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
無位。
ヒトモ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ位無しとも」。「たとえ位がなくても」。逆接。

書き下し Q49. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

若
捨之。
シテ
バ
ヲ

ア 若し之を捨てば

イ 若し之を捨つれば

ウ 若し之を捨てず

▶ 答え：ア 「若し…捨てば（未然+ば）」は順接仮定。「もしこれを捨てれば」。

句法 Q50. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

義見為。

ヲ
サ
サ
レ
バ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「為さざれば (已然+ば)」。「義を見て行わなければ」。順接確定。

句法 Q51. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如
行
之。

シ
ハ
バ
ヲ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し之を行はば」。「もしこれを行えば」。

句法 Q52. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

之
行。

ヲ
ハ
バ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「行へば (已然+ば)」。「これを行うと」。Q51 (らば=仮定) との違いは「へば」。

句法 Q53. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
行之。
トモ
ヲ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ之を行ふとも」。「たとえこれを行っても」。逆接。

書き下し Q54. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

若
無恒
心。
ラバ
ノ

ア 若し恒の心無ければ

イ 若し恒の心無からば

ウ 若し恒の心無し

▶ 答え：イ 「若し…無からば (未然+ば)」は順接仮定。「もし定まった心がなければ」。

句法 Q55. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

恒産無。

ノ
ケレバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「無ければ（已然+ば）」。「一定の財産がないと」。順接確定。

現代語訳 Q56. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

賢者雖。

ト
モ
レ

ア もし賢者であれば

イ 賢者なので

ウ たとえ賢者であっても

▶ 答え：ウ 「雖」は「いへども」。書き下し「賢者と雖も」。「賢者であっても」。逆接。

句法 Q57. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如得師。

シ
バ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し師を得ば」。「もしよい師を得れば」。

句法 Q58. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

良薬
苦
雖_{シト}
レ_モ
○

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「良薬は苦しと雖も」。「良薬は苦いけれども」。逆接。

句法 Q59. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

上
儉_{ナレバ}
○

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「儉なれば（已然+ば）」。「上が儉約なら」。順接確定。

書き下し Q60. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

苟^ク尽^モ心^サ。
心^バ。

ア 苟くも心を尽くさば

イ 苟くも心を尽くせば

ウ 苟くも心を尽くさず

▶ 答え：ア 「苟くも…尽くさば（未然+ば）」は順接仮定。「もし心を尽くせば」。

句法 Q61. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦^ト強^モ敵^ト。
敵^モ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ敵強しとも」。「たとえ敵が強くても」。逆接。

現代語訳 Q62. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

如^シ得^バ道^ヲ。
道^ヲ。

ア たとえ方法を得ても

イ もしその方法を得れば

ウ 方法を得るので

▶ 答え：イ 「如し」は「もし」。書き下し「如し其の道を得ば」。順接仮定。

句法 Q63. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

霜
降_{レバ}。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「降れば（已然+ば）」。「霜が降りると」。順接確定。

句法 Q64. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

千
金
雖_{レトモ}。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「千金と雖も」。「千金であつても」。逆接。

書き下し Q65. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

若
守
約。

シ
ラ
バ
ヲ

ア 若し約を守れば

イ 若し約を守らず

ウ 若し約を守らば

▶ 答え：ウ 「若し…守らば（未然+ば）」は順接仮定。「もし約束を守れば」。

句法 Q66. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

怒
過。

妙
レ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「過ぐれば（已然+ば）」。「怒りが過ぎると」。順接確定。

句法 Q67. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
得
天
下。

ヒ
ト
モ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ天下を得とも」。「たとえ天下を得ても」。逆接。

現代語訳 Q68. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

如
惜
勞。
シ
マ
バ
ヲ

ア もし苦勞を惜しめば

イ たとえ苦勞を惜しんでも

ウ 苦勞を惜しむので

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し其の勞を惜しまば」。順接仮定。

句法 Q69. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

流
急。
シ
レ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「急なれば（已然+ば）」。「流れが速いので」。順接確定。

句法 Q70. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

富貴雖。

ナリト
モ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「富貴なりと雖も」。「富み栄えても」。逆接。

書き下し Q71. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

苟問。

クモ
ハバ

ア 苟くも問へば

イ 苟くも問はば

ウ 苟くも問はず

▶ 答え：イ 「苟くも…問はば (未然+ば)」は順接仮定。「もしよく問えば」。

句法 Q72. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

民信。

ゼザ
レバ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「信ぜざれば (已然+ば)」。「民に信頼されなければ」。順接確定。

句法 Q73. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦ヒトモ有刑。

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ刑ありとも」。「たとえ刑罰があっても」。逆接。

現代語訳 Q74. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

如シラバ有天命。

ア たとえ天命があっても

イ 天命があるので

ウ もし天命があるなら

▶ 答え：ウ 「如し」は「もし」。書き下し「如し天命あらば」。順接仮定。

句法 Q75. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

義背。

ニケバ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「背けば (已然+ば)」。「義に背くと」。順接確定。

句法 Q76. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

才雖。

アリト

レ

モ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「才ありと雖も」。「才能があっても」。逆接。

書き下し Q77. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

若尚儉。

シベバ
ヲ

ア 若し儉を尚べば

イ 若し儉を尚ぶれば

ウ 若し儉を尚ばず

▶ 答え：ア 「若し…尚べば（未然+ば）」は順接仮定。「もし儉約を尊べば」。

句法 Q78. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

水流。
ルレバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「流るれば（已然+ば）」。「水が流れ続けると」。順接確定。

句法 Q79. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦費言。
トモヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ言を費やすとも」。「たとえ多くの言葉を費やしても」。逆接。

現代語訳 Q80. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

苟^ク
当^マ
時^ニ。

ア たとえその時にあっても

イ もしその時にあれば

ウ その時にあるので

▶ 答え：イ 「苟くも…当たれば（未然+ば）」は順接仮定。「もしその時機にあれば」。

句法 Q81. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如^シ
用^キ
我^バ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し我を用ゐば」。「もし私を用いれば」。

句法 Q82. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

之^ヲ
学^ベ
。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「学べば（已然+ば）」。「学ぶと」。順接確定。

現代語訳 Q83. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

三
人
行。
へ
ハ

ア もし三人で行動すれば

イ たとえ三人で行動しても

ウ 三人で行動すると

▶ 答え：ウ 目印がなく「行へば（已然+ば）」。「三人で行動すると」。順接確定。

句法 Q84. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
与
汝。
与
ト
モ
ニ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ汝に与ふとも」。「たとえお前に与えても」。逆接。

書き下し Q85. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

若
聞
之。

シ
カ
バ
ヲ

ア 若し之を聞かば

イ 若し之を聞けば

ウ 若し之を聞かず

▶ 答え：ア 「若し…聞かば（未然+ば）」は順接仮定。「もしこれを聞けば」。

句法 Q86. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

過
改。

チ
ム
レ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「改むれば（已然+ば）」。「過ちて改めれば」。順接確定。

句法 Q87. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

死
視
歸
雖。

ス
ル
コ
ト
シ
ト
モ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「死を視ること帰するがごとしと雖も」。逆接。

現代語訳 Q88. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

苟
棄
之。
ク
モ
テ
バ
ヲ

ア たとえこれを見捨てても

イ もしこれを見捨てれば

ウ これを見捨てるので

▶ 答え：イ 「苟くも…棄てば（未然+ば）」は順接仮定。「もし見捨てれば」。

句法 Q89. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

玉
磨。
カ
ザ
レ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「磨かざれば（已然+ば）」。「玉も磨かなければ」。順接確定。

句法 Q90. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
憐。
トモ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ憐むとも」。「たとえ憐れんでも」。逆接。

書き下し Q91. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

如
歸
仁。
シ
セバ
ニ

ア 如し仁に歸すれば

イ 如し仁に歸せず

ウ 如し仁に歸せば

▶ 答え：ウ 「如し…歸せば (未然+ば)」は順接仮定。「もし仁に歸れば」。

句法 Q92. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

名
正。
シ
カラ
ザ
レバ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「正しからざれば（已然+ば）」。「名分が正しくない」と。順接確定。

現代語訳 Q93. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

力
足
雖_レ。
ラズト
モ

ア たとえ力が足りなくても

イ もし力が足りなければ

ウ 力が足りないので

▶ 答え：ア 「雖」は「いへども」。書き下し「力足らずと雖も」。「力が足りなくても」。逆接。

句法 Q94. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選び。

若_レ問罪。
シ
ハバ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し其の罪を問はば」。「もしその罪を問われたら」。

句法 Q95. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選び。

人無遠慮。

ケレバ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「無ければ (已然+ば)」。「遠い先の考えがないと」。順接確定。

書き下し Q96. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

如従言。

シハバニ

ア 如し言に従へば

イ 如し言に従はば

ウ 如し言に従はず

▶ 答え：イ 「如し…従はば (未然+ば)」は順接仮定。「もしその言葉に従えば」。

現代語訳 Q97. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

縦トモ失寸土。ヲ

ア もしわずかな土地を失えば

イ わずかな土地を失うので

ウ たとえわずかな土地を失っても

▶ 答え：ウ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ寸土を失ふとも」。逆接。

句法 Q98. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

其身ノシケレバ正。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「正しければ（已然+ば）」。「わが身が正しければ」。順接確定。

句法 Q99. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

苟クテラバ義。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「苟くも…義ならば（未然+ば）」は順接仮定。「もし義にかなうなら」。

句法 Q100. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

燕雀小雖
ナリト
レモ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「燕雀小なりと雖も」。「燕や雀は小さいといっても」。逆接。

採点と振り返り

部	問題数	あなたの正答数
第1部 基礎	20	/20
第2部 標準	30	/30
第3部 応用	30	/30
第4部 入試	20	/20
合計	100	/100

まちがえた問題は、次の3点にもどって確認しましょう。

1. 「如・若」＝もし。「苟」＝いやしくも（もし）。これがあれば順接仮定（ア）。
2. 「雖」＝いへども。「縦」＝たとひ。これがあれば逆接（イ）。
3. 目印がなく「～れば（已然+ば）」なら順接確定（ウ）。「～らば」は仮定、「～れば」は確定。

